

◎ 第121回定例研究会

6月29日(木)

於:静岡県評会議室

コミュニティ・オーガナイズとは ～活動家育成トレーニング～

報告:中澤秀一氏(静岡県立短期大学 准教授)

●コミュニティ・オーガナイズ(CO)とは
草の根で活動をする人たちのための方法、手法
例)・ガンジーによるインド独立運動、

・黒人差別撤廃を目指したアメリカの公民権運動

◎ごく普通の人たちが共通の価値観、目的の元に集い、さまざまなコミュニティを形成し、そのコミュニティが大きな力を発揮していく

理論的支柱=マーシャル・ガンツ博士

30年以上にわたってアメリカ各地での市民運動に関わってきたガンツ氏は、市民運動による社会変革「コミュニティ・オーガナイズ」の理論を体系化

●COの5つのリーダーシップ要素

- ①パブリック・ナラティブ
- ②関係構築
- ③チーム構築
- ④戦略立案
- ⑤アクション

戦略立案

「何のために、誰とともに、どのような取り組みをすることで、いつまでに、どのような状態を達成しようとする」

- ①同志:誰が仲間になるのか(共感するのか)
- ②目的:最終目標(大ゴール)
- ③仮説:「私たちが〇〇をすれば、結果は〇〇となるでしょう。なぜなら、〇〇だからです」という一文で表現する
- ④戦略的ゴール:「何年何月までに〇〇を実現する」のように、期間や地域を区切って現実的に達成できそうな目標

⑤戦術:討論会、しゃべり場、アンケート、取材、イメージアップ(ロゴ、漫画、SNS)

チーム構築

同志をオーガナイズするうえで核となるチーム(4~8人ほどで構成)。多様なスキル・資源を持つメンバーが集まり、明確なルールを作り、各人が相互依存しながらリーダーシップを発揮する。コアチームの成員それぞれリーダーとなり、ほかのメンバーのリーダーシップを育てる。この形式は、スノーフレイク型リーダーシップと呼ばれる。

●パブリック・ナラティブとは

オーガナイザーの技能(スキル)のひとつ、「話し方」の技能

・ストーリー・オブ・セルフ

自分がリーダーシップを発揮しようと思いついた価値観について語るもの

・ストーリー・オブ・アス

語り手である「自分」とだけではなく、他者がお互いに協力し行動することを動機付ける価値観を語るもの

・ストーリー・オブ・ナウ

どのような緊急の問題が自分自身を突き動かし、コミュニティのために行動をとることになったのかについて語るもの

●アクションプラン

期間や地域を区切って現実的に達成できそうな目標を掲げることで活動が盛り上がっていく

●おわりに

労働組合は社会的活動をする組織という認識

*連絡先:静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川 2-2-1 セキスイハイムビルディング 7F (静岡県評内)

メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>